

(サルでも分かる HTML)

今回は、世界一簡単に HTML を簡単に説明したいと思います。

まず、Ctrl + u というコマンドを覚えてください！
もしくは、右クリックでページのソースを表示でいいです！

あと、HTML のサイト作るためには、まず HTML ファイルを作る必要があります！

〇〇.html という形で HTML ファイルをテキストエディタから作ってください！

〇〇の中は、英語がいいです！
適当に内容に合う単語でいいでしょう！

今回は、私が作ったこのページを使います！

<https://mike701.neocities.org/>

(ソースコード)

```
<!DOCTYPE html>
<html lang="ja">
<head>

<meta charset="utf-8">

<title>Hello World.</title>
</head>

<body>

<h2>Hello World...</h2>

<h3>(Profile)</h3>

<ul>

<br><br>
<hr>
<li>名前: Mike</li>
<li>MBTI type: INTJ(LII) </li>
<p> <a href="https://casual-typology.blogspot.com/2021/05/gliintj.html">INTJ の
解説についてはこちら</a><p>
<p>ソシオテスというテストからこのタイプだと診断されました。非常に正確で面白いテストなので、ぜひ
やってみてください.<p>
<li>趣味: イラスト プログラミング, ギター, ピアノ, 歌, 英語学習などなど</li>
<li>座右の銘: ローマは一日にしてならず</li>
<hr>

<p>まずは、こちらを先にクリックしてください <p>

<li><a href="virus.html">ウイルスについて</a></li>

<li><a href="lgbt.html">LGBT について</a></li>
```


</body>

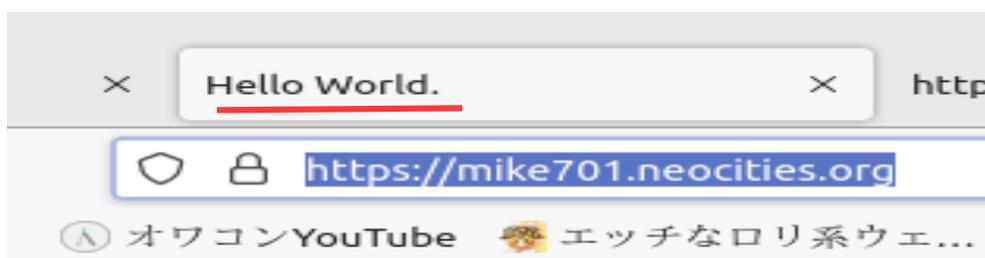
</html>

一個ずつ、解説していきますね….

まず<title>のタグは、これはページのタブに表示されるタイトルをどんな名前にしますか？

って事です。

ここでは、<title>Hello World.</title>となっているので、こうなります。



日本語でも構いませんが、僕は半角全角のエラー呪いが大嫌いなので半角のままでいい英語にしています。（それは好みなんでおまかせします）

次に、例えばHTMLを使って、何か文字を書きたいという場合は、**<body> から</body>の間で、書いてください。そうじゃないと表示されません。**

ここをよく覚えておいてください。

もう一度、上のコードを確認してきてください。

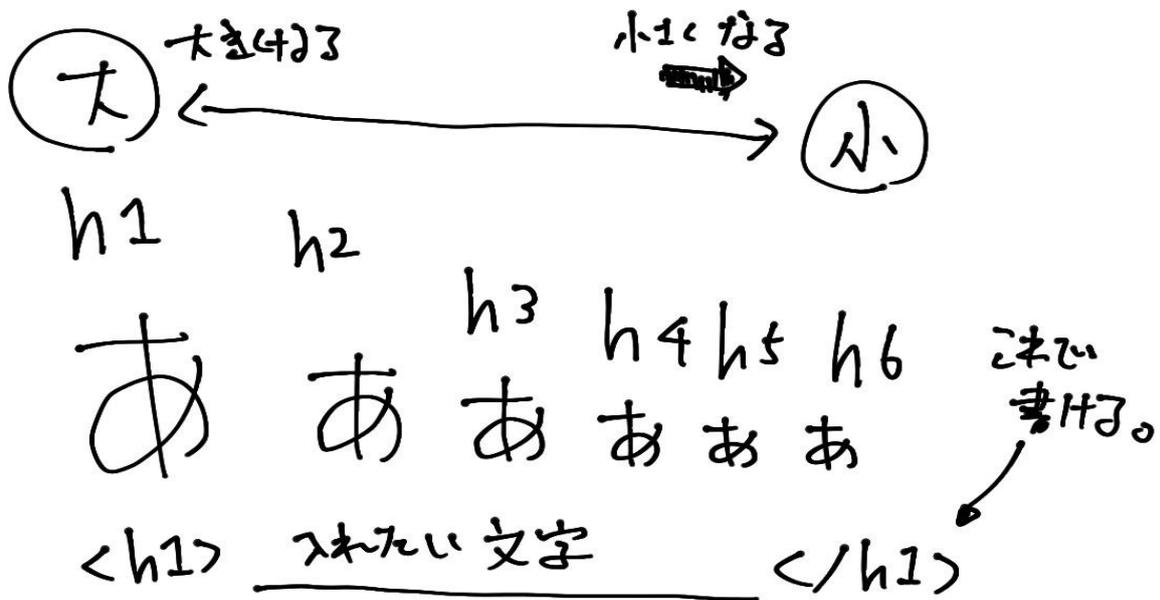
さて、次に解説するのが<h1>とかのタグです。

これは主に文字を書きたい時に使います。

<h1>が一番大きくて、

<h6>が一番小さくなります。

図にするとこんな感じ。



<h1>は主に、文字を大きく強調したいときや
始めのページタイトルとかに使用します。
詳しくは、僕が作ったHPの方でご確認ください。

次にimgタグです。
これは主に画像を表示させたい時に使用します。

```

```

例としてはこんな感じです。

width は画像の幅の指定です。

height は画像の高さの指定です。

だいたい両方とも500~700くらいで数値を設定するのがいいです。
100とか200とかにすると小さすぎて、
でも、1000とか1500にすると逆に大きすぎてバランスが悪くなります。

Hello World...

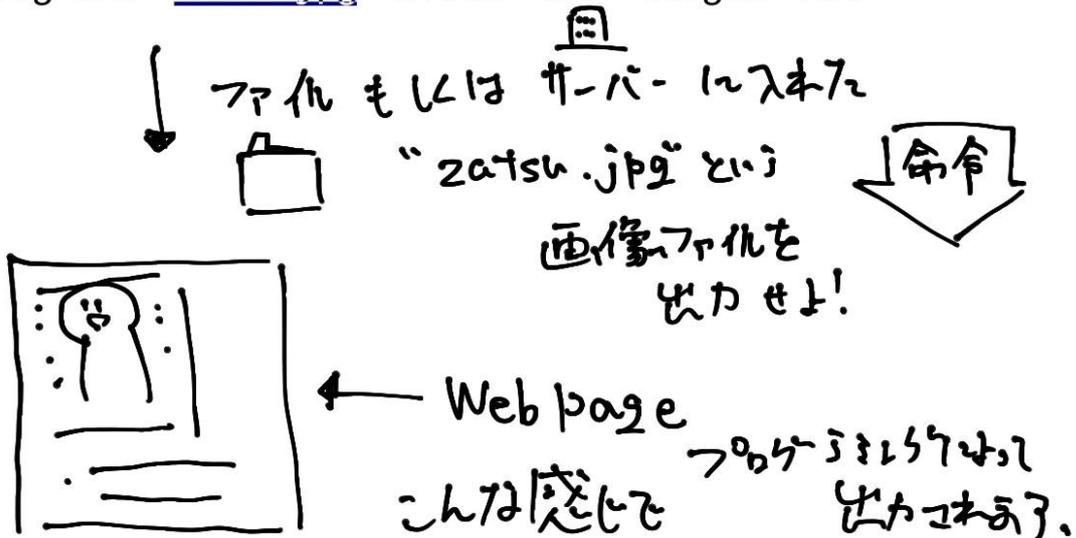
(Profile)



さて、どうやってこの画像が出るのかを仕組みを紹介します。
まず、基本的にこんな感じです。
次のページにみてください。

```

```



こういう仕組みでタグは、画像を出力します。
ただ、この仕組みじゃなくても画像を出力する方法があります。
それは検索エンジンにある画像のURLをコピーして、
ペーストさえすればいいのです！
ということかと言うと、
例えばこの画像を表示したい時。



コードに変換すると、

```
<img src= "  
https://at-living.press/wp-content/uploads/2018/04/20180427\_heisei\_000\_.jpg">
```

こうすることで、インターネットから画像を引っ張って、
表示することが出来るんです！

これはいちいち画像を自分でダウンロードして、
ファイルやサーバーに入れてやる方法より簡単で便利なので覚えておいてください！

どうやるかは、**右クリックを押して、**
その中の「**画像を新しく開く**」
もしくは「**画像のリンクをコピーする**」で
出来ると思います！

「画像を新しく開く」で、
画像が大きく表示されたら、
あとは**上側の検索バーに表示されるURLリンク**をコピー&ペースト、してください！

次は、Web ページ上に他のリンクを表示させる方法を教えます！

リンクを表示させたい時は、このコードを使います！

```
<a href="https://webst8.com/">ここにテキストが入ります</a>
```

属性の説明とか a タグについては、説明が面倒くさいので、
自分で調べてください！

“a href 属性 とは？”みたいな感じで
Youtube とかネットで検索すると思います。

それでは一個一個説明します！

まず飛ばしたいリンク先を指定します。
この場合、"<https://webst8.com/>"に移動させたいから、
<a href=のあとに” ”（クォーツ？）で囲って、
リンクを貼り付けする必要があります！
リンクを貼り付けたら今度は、>を入れて、
リンク先の説明文をテキストで書く必要があります。
例えば、HTML の説明のリンクなら、

HTML 説明リンクはこちら

みたいな感じになります。
口だけではわからないと思うので実際に書いてお見せします。

```
<a href="https://saruwakakun.com/html-css/basic/html">ここで HTML を学べます。</a>
```

こうすることで、Web ページ上ではこの様に表示されます。

[→ここでHTMLを学べます。](#)

まあ、たぶん、わからない方もいると思うので、一回下記のリンク先に行って、
[INTJの解説についてはこちらの部分やウィルスについて](#)とか[LGBTについての所](#)を
クリックしてください。

移動できますよね？

それが”a href”によるリンク先の指定になります。

こうすることで、PDF ファイルを表示させたり、
他の HTML ファイルで作った Web ページ移動させることができます。

<https://mike701.neocities.org/>

例えば、僕はすでに <https://mike701.neocities.org/virus> という
サイトを neocities のサーバーで作りました。

そうすると、HTML ファイルは、

virus.html としましたので、

<a href=のあとに”virus.htm”と貼れば、

virus について書いた Web ページに行けるわけです。

これは PDF も同様で、

例えば、今書いている、html.pdf のファイルも
サーバー側にファイルをアップロードしておけば、

あとで、

```
<a href="html.pdf">PDFはこちら(テキスト)</a>
```

としておけば、リンクをクリックした人はPDFが見れ、
ダウンロードが出来るわけです。

また、リンク先の指定がこのコードで出来るので、
例えば、youtubeのURLをコピペして、共有したり、
参考にしたサイトのリンクをコピペすれば
共有も出来ます。

とても便利なコードなので是非覚えてください。

次に、<p>や
の要素です。

p要素は主に改行して、文章を書きたい時に使います。

さっき紹介したa hrefのコードと合わせて使います。

なぜかと言うと、h1タグで文章を書いた後に

a hrefのリンク先指定のコードを書くと並んでしまうからです。

つまり、

```
<h2>HTMLはここから学べます</h2>
```

```
<a href="https://saruwakakun.com/html-css/basic/html">こちらをクリック!</a>
```

<web ページ上>

HTMLはここから学べます。 こちらをクリック!

こうすると、見た目も悪いし、バランスも悪いので、

<p>を使って改行できます。

ですからこんな感じで、

```
<h2>HTMLはここから学べます</h2>
```

```
<p><a href="https://saruwakakun.com/html-css/basic/html">こちらをクリック!</a><p>
```

<p>の要素で囲うと、

<web ページ上>

HTMLはここから学べます。

こちらをクリック!

こうすることで、バランスが良くなるのです。

また、
は終了タグなしで使える改行タグですね。

まあ、さらに改行したい方が、使うくらいです。

(別に無理に使う必要はない)

次に、との要素ですね。
とかもサイトごとの説明であります、
そこら辺の属性の違いは説明ができないので、
自分で検索してください。

これは主に、
こういった文章を作りたい時に作ります。

- ・誕生日：12月25日
- ・生年月日：1955年
- ・血液型：AB型

など簡条書きで情報を書きたい時に使います。

詳しくはこちらに乗っているので、参考にしてください。
<https://saruwakakun.com/html-css/basic/ul-ol-li>

コードとしては、こういう形になります。

```
<ul>
```

```
<li><h3>誕生日：12月25日</h3></li>
```

```
<li><h3>生年月日：1955年</h3></li>
```

```
<li><h3>血液型：AB型</h3></li>
```

```
</ul>
```

まあ、あくまでも例として、
適当な個人情報を書いたので、
みなさんは決して自分の個人名、
個人情報は書かないでください。
自分の顔写真もです。
(電話番号や住所、県など)

仕事などで使いたい人は別ですが…。

あとは、<hr>タグですね。

これは、ページに区切り線をつけたい時に使います。

例えば、
<hr>
<h3>あいうえお</h3>
と書けば、

<Web ページ上>

あいうえお

と表示されるようになります。

・今回の HTML 解説は以上となります。
あとは、私の作ったホームページのソースコードを
適当に貼り付けて、コピペして、
自分で編集すれば、誰でも HTML で自分のサイトを作れます！
この説明は世界一 HTML プログラミングがされていると思うので
頑張ってください！

あとは、なにか表示されない、エラーが出たら
こちらのサイトを参考にエラーチェックしてみてください。

[https://style.potepan.com/articles/21554.html#HTML3 Markup Validation Service](https://style.potepan.com/articles/21554.html#HTML3_Markup_Validation_Service)

また、文字色の指定、
ページの背景の指定や背景色の指定は、
CSS の要素になるので、
そこはご自身でテキストを買うなり、
Youtube なりで勉強してみてください！

テキストとしては、
”これからはじめる HTML&CSS の本”という物が
一番シンプルで分かりやすいかなと思います！！
説明は以上です！
ありがとうございました！